
iSOC（アイソック）の設置方法

■設置する前に

ポリウレタンチューブ、アイソック上部の給気部、フィルターのガス給・排気部を保管する際は、接続部を解放した状態にはせず、必ずキャップ、もしくはビニールテープ等でシールするようにしましょう。水分はもちろんのこと、ホコリ等が侵入しエアの供給を阻害する原因や、アイソックおよびフィルターの目詰まりの原因となります。製品を送り返す際にも気を付けましょう。

また、アイソックを液中に入れる（浸ける）際は、必ず酸素等のガスの圧力がかかった状態にしてから行ってください。水等の液体がアイソックに侵入して目詰まりを起こす原因となります。アイソックを引き上げる際やガス圧が停止した際も同様になります。必ず、ガス圧を下げる／が下がる（ガスの供給を止める／が止まる）前に地下水等の液体からアイソックを引き上げてください。

■設置方法

①レギュレーターをボンベに取り付けます。



②ボンベへのレギュレーターの取り付け。

便宜上立てた状態で撮影していますが、レギュレーターを落とす恐れがありますので、寝かせて作業を行うことを勧めます。レギュレーターとボンベの接続部には O リングが付いていますが、ボンベ側のオスネジにシールテープを巻くようにしましょう。



③ボンベの栓を開けて、ガスの残量とシーリング状況を確認します(右側の目盛)。



④ロックの付いたチューブを図のように取り付けます。



⑤アイソックにフィルターを接続します。接続の際、水分やホコリ等がチューブに入らないように気をつけましょう。フィルターの方向は→の先にアイソックが来る形になります。フィルターも地下水(液体)に浸りますので、ワンタッチ部分が確実にロックされていることを確認しましょう。



⑥フィルターをアイソックに取り付けた際の拡大写真です。方向を間違えないように取り付けてください。



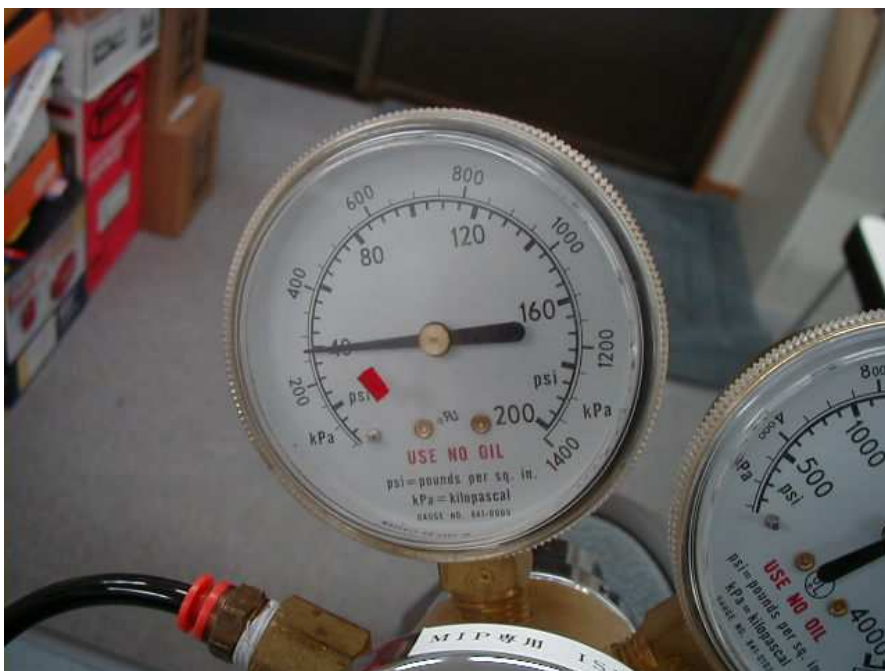
⑦コック部分にチューブをつなぎます(所定の長さのチューブ)。コックとチューブでつないだ直後のコックの向きを確認してください。



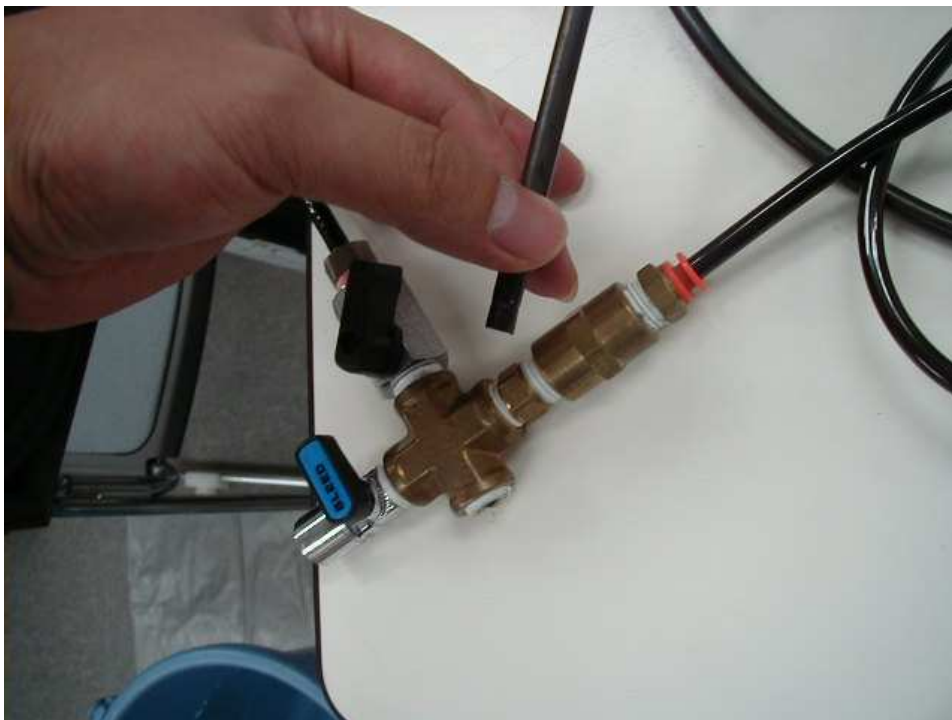
⑧レギュレーターを開放する方向に回して(INCREASE)ガスをチューブ—コックの中に流します。ちなみに減圧がDECTEASEです。



⑨ガス圧を 60psi に設定します。70psi 以上かけますとシステムに不具合が生じます。また、60psi 以下にセットして地下水深部に入れると、ガスが地下水中に供給されないことがあります(例えばガスに酸素を使用した場合、所定圧以上をかけなかった場合、地下水中の窒素がアイソック内に侵入し、酸素の地下水への供給を阻害します)。



⑩黒い方のコックを少し開いてチューブ内にガスを通します。これによりチューブやコック内にたまったホコリ等を取り除き、システムへの障害を防ぎます。チューブの端を手で押さえてガスの圧が感じられればコックを閉じて構いません。



⑪チューブとフィルターを接続して、すべてのパーツをつなぎます。



⑫接続した際の全体写真です。



⑬あらかじめ用意した水の入ったバケツにアイソックを浸けます。これによりアイソックシステムの動作確認をします。



⑭前景です。



⑮アイソックから泡が出てくるのが確認できれば完成です。この泡はガスとして酸素を送った場合は主に窒素からなります(アイソックバブル)。酸素は地下水に供給されますが、濃度勾配で浸透しますので目で見ることは出来ません。またアイソックバブルの窒素は地下水中のものになります。アイソック内が酸素リッチとなっているため、アイソックから酸素が供給される際に地下水に含まれる窒素がアイソック内に入ろうとします。これをかけた圧力にて押し出す形になります。

